



JUNBA 理事会(第 150 回)議事要旨

日時: 2021 年 5 月 27 日(木)15:00-16:15

場所: JSPS サンフランシスコ研究連絡センター内会議室(オンライン)

参加者:

【理事】名大(神山会長、岡田様、岩倉様)、丸山理事、三宅理事、
阪大(山本様(理事代理)、東澤様)

【会員大学】鹿大江木様

【総領事館】黒川領事

【事務局】田宮センター長、伊藤副センター長、西村国際協力員、岡田国際協力員

1. 第 149 回 JUNBA 理事会報告【資料1】

事務局より、資料に基づき報告された。「審議事項(4)JUNBA2020 報告書について」の中で、報告書が「発行された」旨記載されていたが、現在印刷の準備を進めている段階であるため、修正することとなった。その他については了承された。

2. 議事

【審議事項】

(1)令和 3 年度 JUNBA 勉強会開催について【資料2-1~2】

資料に基づき、まず事務局より令和 3 年度 JUNBA 勉強会の概要について説明があり、その後、桜美林大と名古屋大から候補となるトピックの提案があった。審議の結果、勉強会は以下の通り進めることが決まった。テーマ等の詳細については担当大学で引き続き議論する。本理事会終了後、事務局より準備にかかるスケジュール表(案)を各担当へ送付する。

1. テーマ

各担当大学で検討する。本理事会終了後、1~2週間程度までを目途に事務局へ企画案を送付する。

2. 開催方式

オンラインとする。

3. 参加対象

1 回目の勉強会は JUNBA 会員大学等、関係者向けとし、2 回目は状況を見て再度対象者を検討する。

4. 開催頻度

全 2 回

5. 開催時期及び時間

9月と12月にそれぞれ開催する。時間は各担当大学で検討する(90～120分程度を想定)。

6. 実施体制

9月:名古屋大・大阪大が担当

12月:桜美林大・奈良先端科学技術大が担当

テーマ、内容、時間等をそれぞれの担当が企画する。

7. 外部からのスピーカーの有無及び謝金

ゲストスピーカーに対して謝金が発生する場合、教授級以上であれば\$300、准教授級以下の場合、\$200までは事務局で負担可能(計:4～5名程度まで)。

(2) 第15回総会の開催について【資料3】

事務局より、資料に基づき報告があり、了承された。
総会は6月24日(水)15時30分から開催予定である。

(3) JUNBA2020 報告書の印刷製本について【資料4】

JUNBA2020 報告書の費用分担等について、資料をもとに検討された。
各大学がそれぞれ10万円ずつ印刷・製本費用を負担し、残りの20万円程度をJSPSが支払うこととなった。冊子は奈良先端科学技術大に届くため、海外含む各拠点等への送付費用については、同大から負担可能と申し出があったため、依頼することとした。

海外から日本国内への送金手数料は高額になるため、名古屋大と桜美林大は合わせて20万円分を名古屋大が代表して支払う予定である。10万円分の請求書を両大学に送付し、支払いは名古屋大がまとめることは可能か、三宅理事より業者に確認いただく。問題なければ、桜美林大は10万円を小切手で名古屋大に支払うこと。その他の国内の大学については、業者から請求書が送付され次第、各自支払いを進めること。

クレジットカードでの支払いが可能かどうかについても三宅理事から業者に現在確認中である。

【報告事項】

(1) 各拠点の令和3年度の活動計画について【資料5】

大阪大、名古屋大、JSPSより、更新された活動計画について報告があった。
また、桜美林大より、「OBIRYU フェス」について紹介された。

(2) その他

JUNBA2020に関する論文が高等教育研究叢書に掲載されることが決まった。
掲載に関する通知等が出たら、三宅理事より事務局まで共有いただく予定である。

以上